

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興関連需要など一部で持ち直しの動きが見られたものの、欧州財政問題の長期化や中国をはじめ新興国経済の成長鈍化などを背景に先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況のもと、当社グループでは、新製品開発や新規顧客の開拓など販売活動を強化するとともに、原価低減や生産効率の向上など収益改善に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は247億7千8百万円（前年同期比5.8%増）となりました。

損益面につきましては、営業利益は4億3千3百万円（前年同期比2.6%増）、経常利益は主として持分法投資利益の増加により13億7千4百万円（前年同期比57.0%増）、四半期純利益は11億8千1百万円（前年同期比49.9%増）となりました。

セグメント別の業績の状況は次のとおりであります。

#### ① 塗料関連事業

当セグメントの業績につきましては、新製品開発による新規市場の開拓や省エネ対策など環境対応型塗料を主力に売上拡大を押し進めるとともに生産効率の向上に取り組みました。

品種別売上高につきましては、建築・構築物用塗料のうち、床用塗料は前年同期比8.0%、防水用塗料は7.3%と増加しました。また、工事関連売上高は、集合住宅大規模改修工事の受注拡大により前年同期比25.9%と大幅な増加となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、102億8千万円（前年同期比8.9%増）セグメント利益は3億1千7百万円（前年同期比45.2%増）となりました。

#### ② 自動車製品関連事業

当セグメントの業績につきましては、第3四半期に入り国内エコカー補助金の終了による生産台数減の影響は受けたものの、第2四半期までの堅調な売上により全体では前年同期比増収となりました。利益につきましては、製品価格変動の影響、固定費増加などにより前年同期比減益となりました。

品種別売上高につきましては、防錆塗料は新規受注増により前年同期比22.7%、制振材も輸出向け受注増で前年同期比12.2%増加しましたが、吸・遮音材につきましては前年同期比2.3%減少しました。また、海外向け材料輸出等のその他売上は前年同期比△9.8%と減少しました。

この結果、当セグメントの売上高は144億8千7百万円（前年同期比3.8%増）、セグメント利益は1億1千2百万円（前年同期比44.0%減）となりました。

### ③ その他

保険代理業の売上高は10百万円（前年同期比9.2%増）となりました。

（注）各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高消去後の数値を記載しております。

#### (2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ9千5百万円増加し、381億2千万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少7億8千4百万円、有形固定資産の減少3億2千9百万円、投資有価証券の増加12億2千6百万円によるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ11億4千万円減少し、180億4百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の減少6億2千6百万円、借入金の減少1億4千9百万円、未払法人税等の減少2億1千7百万円によるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ12億3千6百万円増加し、201億1千6百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加9億5千9百万円、その他有価証券評価差額金の増加2億2千2百万円によるものです。

#### (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

#### (4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は8億4千4百万円であります。

#### (5) 従業員数

当第3四半期連結累計期間において、連結会社又は提出会社の従業員数の著しい増減はありません。

#### (6) 生産、受注及び販売の実績

当第3四半期連結累計期間において、生産、受注及び販売実績の著しい増減はありません。

#### (7) 主要な設備

当第3四半期連結累計期間において、主要な設備の著しい変動及び主要な設備の前連結会計年度末における計画の著しい変更はありません。